

都市再生整備計画 事後評価シート
細地区

令和5年3月

大分県大分市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	細地区	面積	39
交付期間	平成29年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	1092.3	国費率	0.415

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名				
	基幹事業	道路(6-1号線、6-3号線、6-4号線、6-5号線、6-6号線、6-7号線、6-9号線、6-10号線、6-11号線、6-12号線)、公園(多目的公園)、地域生活基盤施設(ポケットパーク1・2・3号、耐震性貯水槽)					
	提案事業	地域創造支援事業(細の地区マップ、文化・歴史記録づくり、雨水排水施設整備)、事業活動調査(事後評価の実施に関する調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくりに関するワークショップの開催)					
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	基幹事業	道路:6-8号線	道路整備箇所について見直しを行ったため	影響なし			
	地域生活基盤施設	避難経路案内板設置	防災局が避難経路案内板を地区内に設置したことにより、計画の見直しを行ったため	影響なし			
	地域創造支援事業	歴史・施設案内板設置	地区の歴史、文化に関するパンフレットを作成し地域住民へ配布したことにより、計画の見直しを行ったため	影響なし			
新たに追加した事業	基幹事業	防犯灯設置事業	ポケットパーク内施設の整備について見直しを行ったため	影響なし			
提案事業	なし	-	-		-		
交付期間の変更	当初	平成29年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし		
変更	なし	なし	なし		なし		

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	災害時等に避難困難な居住者数	人	360人	H28	230人	R3		218(R3)	○	あり なし	防災道路の整備に伴い、災害時等の避難困難な居住者が減少し、指標の達成につながった。	-
指標2	地区防災活動への参加率	%	40%	H28	60%	R3		45%(H30)	△	あり なし	新型コロナウイルス感染拡大により令和元年から活動を自粛したため指標の達成に至らなかった。感染が収束した後、防災活動の再開により、目標達成は見込まれると考える。	新型コロナウイルス感染拡大により地区防災活動が行えなかった。来年度以降も収束の見通しが不透明であるが、今後の感染状況を注視するなかでフォローアップの検討を行う。
指標3	運動、レクリエーション活動の参加者	人/月	100人/月	H28	200人/月	R3		240人/月(R4)	○	あり なし	多目的公園整備の完了に伴い地域住民の交流の場として運動・レクリエーション活動の促進が図られ、指標の達成につながった。	-
指標4										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

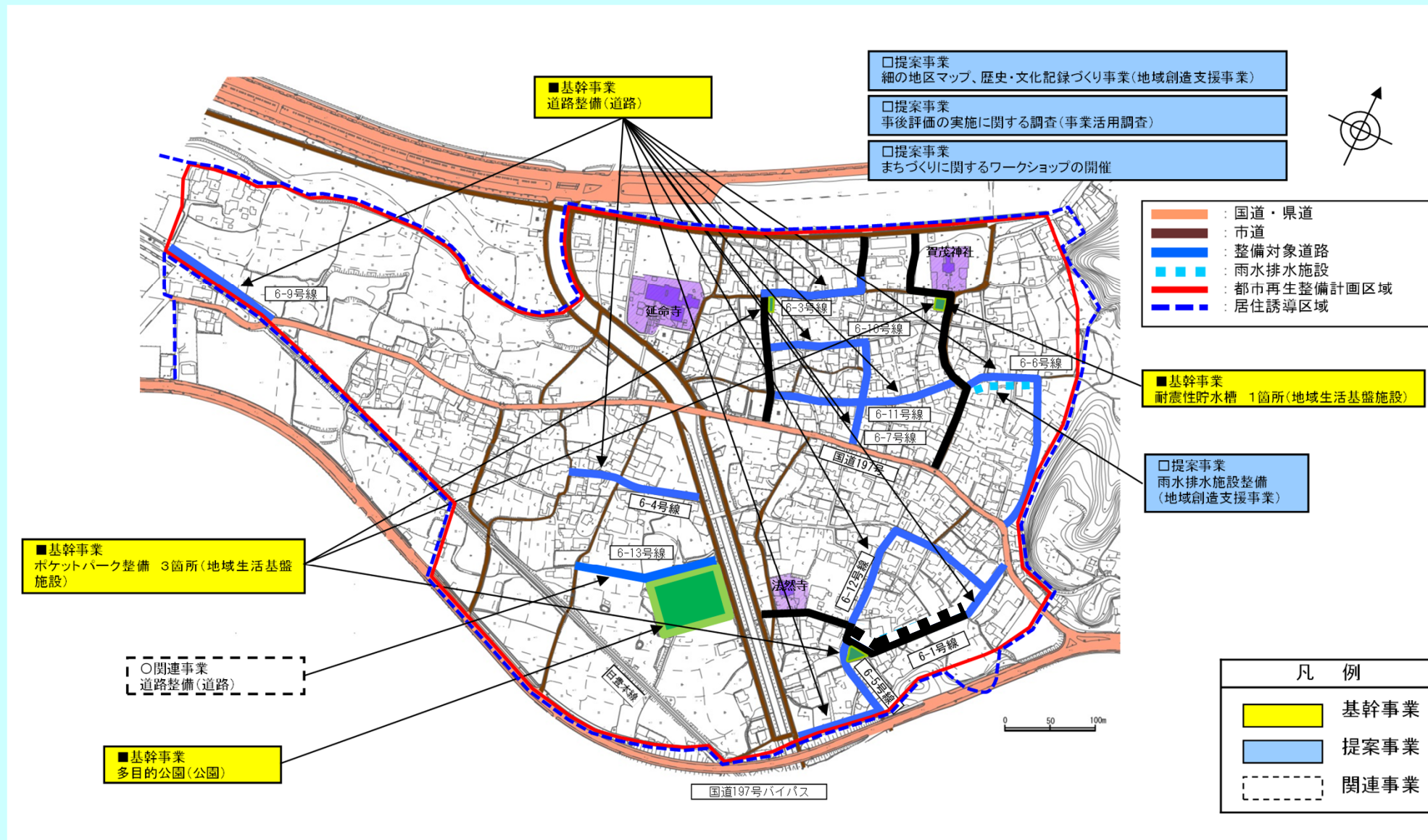
4)定性的な効果発現状況
 ・公園の整備により、運動・レクリエーションの場が増えコミュニティの形成や健康増進、世代間交流に寄与できるとの声が聞かれた。
 ・道路の整備により、安全に通行することができ利便性が向上したとの声が聞かれ、さらに災害時の避難路の確保や緊急車両の通行が容易になり、安全性が向上したとの声が聞かれた。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
官民連携による取組	・防災に関するワークショップの開催(R2.6) ・多目的公園に関するワークショップの開催(R3.6、R3.12) ・細区住環境整備事業促進協議会への参加(年1回)	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
持続的なまちづくり体制の構築	・公園愛護会の結成	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

細地区(大分県大分市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
大目標: 若者にも高齢者にも安心・安全な生活環境を整え、豊かなコミュニティを育む、健康・元気な細のまちづくり 目標1: 都市防災機能の強化や日常生活の利便性向上のための防災道路や公園・広場等の整備 目標2: 住民同士の交流を図るための合意形成活動の実践による地域コミュニティの強化	災害時等に避難困難な居住者数	単位:人	360人	H28	230人	R3	218人	R3
	地区防災活動への参加率	単位:%	40%	H28	60%	R3	45%	H30
	運動、レクリエーション活動の参加者	単位:人/月	100人/月	H28	200人/月	R3	240人/月	R4



まちの課題の変化
 ①『都市防災機能の強化や日常生活の利便性向上のための防災道路や公園・広場等の活用促進』
 生活道路の拡幅整備とともに、それに伴う排水施設を整備している。また、大規模地震発生時の津波被害防止のために、多目的公園やポケットパークの整備による一時避難場所の確保、及び生活道路の拡幅整備による避難経路を確保している。これらの整備を踏まえ、更なる都市防災機能の強化や日常生活の利便性向上のために防災道路や公園・広場等の活用を促進する必要がある。

②『住民同士の交流を図るためのまちづくり活動による地域コミュニティの活性化』
 多目的公園及びポケットパークの整備とともに、地区固有の貴重な歴史・文化の記録の継承を図るための地区マップ、歴史・文化記録づくりを整備している。これらの成果を踏まえ、公園や広場を活かした、運動・レクリエーション活動の促進、地区の歴史・文化を継承するための活動を促進することにより、地区特性に応じた住民主体のまちづくりによる地域コミュニティを活性化させる必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
 まちの課題の変化に伴い、次の二つのまちづくりに関する方策を推進する。
 方策1: 防災道路や多目的公園、ポケットパークについて、避難経路や一時避難場所として活用を図り、都市防災機能を強化することにより、安心安全なまちづくりを推進し、また、公園や広場の活用を促進することにより、生き生き・にぎわいのあるまちづくりを推進する。
 方策2: 地区マップ、歴史・文化記録の活用促進により、歴史・文化や地域資源を活かしたまちづくりを推進する。